

## 【研究概要】

この研究の目的は脳波モニターを用いて術中の鎮痛度を評価する方法を確立させる事である。麻酔中の侵害入力の状態を脳波解析したパラメータの変化から判断し、鎮痛が不足したと判断された時点で所定量のフェンタニル（オピオイド）を投与してその前後での脳波パラメータの変化から鎮痛が不足していたかどうかを評価する。同時に血圧や心拍数の変動も比較検討する。